

生と死

“自分の最期”
あなたは病院派・自宅派？
観わりよければ、すべてよし！！

自宅での自然な最期を考える 市民フォーラム

入場無料



最期は、あなたのお家に帰りませんか？

日本は、これから多死社会を迎えます。40年前には、8割の方が自宅で最期を迎えていましたが、現在は9割の方が病院で最期を迎えています。人生の最後を住み慣れた自宅で過ごすことを考える市民フォーラムです。どなたでも参加できます。是非ご参加ください。

日時 / **11月24日(土) 午後2時～5時**
参加費無料・要予約(先着200名)

会場 / **尼崎市中小企業センター1階ホール**

阪神尼崎駅より徒歩約5分 国道2号線沿い アルカイクホール向かい 電話 06-6488-9501

総司会 / **桜井隆(さくらいクリニック院長)、長尾和宏(長尾クリニック院長)**

★講演(2時～3時30分)

1. 自分らしく、満足のいく最期を迎えるには
長尾クリニック院長 長尾和宏
2. 介護者も癒してあげたい
NPOつどい場さくらちゃん代表 丸尾多重子
3. ケアマネージャーからみた生と死
あいあいケアプラザセンター所長 山下和枝
4. 知っておきたい葬儀の知識
平安祭典 共生課 小平達也

★特別講演(3時30分～4時30分)

「その人らしく生き、その人らしく死ぬために」
大下大圓(高野山大学スピリチュアル学科客員教授)

★座談会(4時30分～5時)

5名のパネルディスカッション
大下大圓、長尾和宏、山下和枝、丸尾多重子、小平達也

おした たいげん
大下大圓氏
プロフィール



- ◆岐阜県飛騨 千光寺住職
- ◆高野山大学客員教授
- ◆和歌山県立医科大学非常勤講師
- ◆日本スピリチュアルケア学会理事
- ◆著書
「いい加減に生きる
-スピリチュアル仏教のすずめ」
「癒し癒されるスピリチュアルケア
-医療・福祉・教育に活かす仏教の心」

問合せ ※お申し込みとお問い合わせ先:裏面の申し込み用紙をFAXしてご応募ください。

申込み / **FAX:06-6412-9396 TEL:070-6687-5303(田中)**

主催 / 尼崎の在宅医療を考える会(尼崎市昭和通7-242 医療法人社団寿和会 長尾クリニック内)

後援 / 阪神ホームホスピスを考える会・兵庫県いのちと生きがいプロジェクト